

アスパラガス栽培を推進しています

アスパラガスの産地化を目指しています。新規に栽培を始めませんか。平成30年5月より予例施設を利用した、共選販売を開始しました。

【アスパラガス栽培に適したほ場条件・管理条件】

- ① 下水位が低いこと(常時 70 cm以上あることが理想です)
- ② 根が伸びるため、耕土は深く膨軟であること
- ③ 水性が良く、降雨やかん水後の水はけが良いこと
- ④ 作田では、暗きよ、明きよ等排水対策があること
- ⑤ 乾燥する時期は、かん水ができることと良いこと
- ⑥ 適期に徹底した病害防除が必要なので、十分な薬量散布ができる防除機等の設備があること

収量確保により高所得が期待できます

【植え付け3年後に収穫・所得が期待できます】

- ① 適正管理で3年後には収量 700kg を確保できます
- ② 10a あたり約 40 万円の所得が期待できます
- ③ ハウス栽培であれば、さらに早期出荷と収益向上が期待できます

共同販売・選別の開始と施設栽培の推進について

平成30年5月より、共同販売・共同選別を開始致しました。このことにより規格が統一され、生産者の皆様にとっても出荷調整作業に要する時間が削減され、その分圃場の管理に労力を費やすことができる為、規模拡大や収量向上につながります。雨よけ栽培やハウス栽培では、より長期に収穫でき、生産量の拡大に期待出来ます。今後は新規栽培者の確保とともに規模拡大の推進に取り組みます。出荷量が、増加しても島外に販路があり、安定的な収入が確保できます。

【お問い合わせ先】

JA 佐渡 営農事業部 園芸振興課 (63-3101)

JA 佐渡 各営農窓口

アスパラガス新規作付にあたって

○ 作 型（立茎長期どり栽培）

年生等		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作 型	1年生	○	—————	△	—————	—————	—————	—————	—————	—————	×
	成 園	—————	■	—————	■	—————	—————	—————	—————	—————	×
主な作業	1年生	は種	—————	定植	←—————	—————	株養成・防除	—————	—————	—————	茎葉刈取
	成 園	—————	—————	収穫	立茎	←—————	—————	防除	—————	収穫	—————

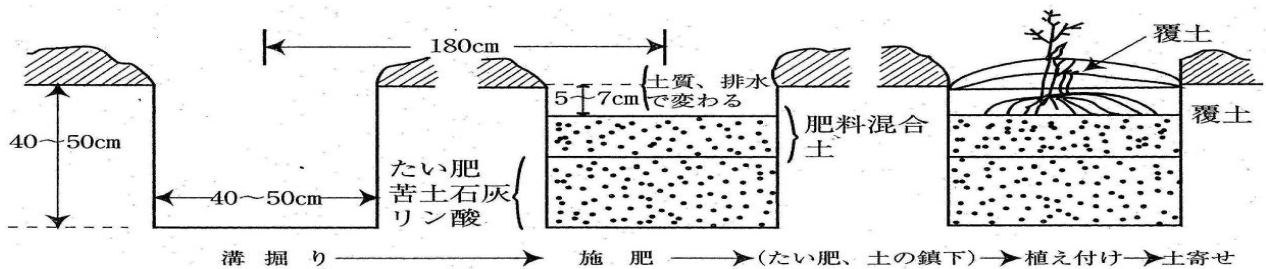
定植時期は5月中ですが前年のうちに定植ほ場の準備をしておきましょう。

○定植前の土づくり

アスパラガスは多年生植物であるため、いったん定植するとその後の土壌改良が難しくなります。そのため、定植前に十分な土づくりを行っておく必要があります。ユンボ等を用いて植溝施肥を行いましょう。

水田転換畑等排水の悪いほ場は高畦にし、明渠を入れるようにしましょう。

※秋頃～春先まで(雪がない時期または溜まり水がない条件)で早め準備しておきましょう。



定植時の施肥例

(10a 当たり kg)

肥料名	全層 Kg	植溝 kg	成分		
			チッソ	リンサン	カリ
BM 畑作 1 号		200	24.0	22.0	24.0
粒状ようりん	100	60		32.0	
苦土炭カル	100	100			
完熟堆肥 (JA有機)	3,000	7,000			
合計			24.0	54.0	24.0

JA有機の注文はお早めをお願いします。製造状況により販売・お届け時期が要望に添えない場合がありますので、あらかじめご承知おきください。